

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月7日		記入者	山口 純	連絡先	5215
平成18年度部名	生涯学習部		課名	生涯学習課	課長名	高橋 誠司
平成19年度部名	生涯学習部		課名	生涯学習課	課長名	高橋 誠司
事務事業名	生涯学習施設維持補修事業					
予算上の事務事業名	生涯学習施設維持補修費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15130		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					
施策名	第3施策 生涯学習関連施設の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分			▼	5 事業開始年度	平成17年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
生涯学習施設における学習活動が機能的かつ効率的に行われるように、各施設の維持補修を行う。				市立公民館単独館、図書館、博物館ほか生涯学習施設		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
生涯学習施設に係る維持補修修繕 14,335千円						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
市民生活課が所管する「出張所・公民館併設館」の維持補修						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	9,700	8,761	11,000	11,000	
一般財源	0	9,700	8,761	11,000	11,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	3,220	4,025	3,220	3,220	
事業コスト合計	0	12,920	12,786	14,220	14,220	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	生涯学習施設維持補修費（公民館分）			対象名称 と単位	単独館11館	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	9,700	8,761	11,000	11,000	
対 象 数	0	11	11	11	11	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	881,818	796,455	1,000,000	1,000,000	
前 年 度 比		#DIV/0!	0.90	1.26	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	修繕要望に対する検討率 (%)	指標式と指標の説明	修繕要望件数/検討件数×100 各公民館からの修繕要望に対し、見積りを徴する等の対応をした率		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	154.0	123.0		
目標	0.0	154.0	123.0	123.0	123.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	修繕要望に対する実施率 (%)	指標式と指標の説明	修繕実施件数/修繕要望件数×100 各公民館からの修繕要望に対し、修繕を実施した率		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	76.0	101.0		
目標	0.0	154.0	123.0	123.0	123.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	49.4	82.1		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		市民が直接利用する施設であり、常に安全・清潔を保って、市民に安心して気持ち良く利用してもらうため、積極的に維持補修している。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
施設利用に重大な影響を及ぼすほどの緊急な修繕でなくとも、老朽化した個所を早期にこまめに修繕することで、大規模な修繕を削減し修繕費そのものの抑制と施設の延命化を図ることができる可能性がある。			計画的な修繕を実施することにより、修繕費を平準化することについて検討が必要である。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			